

学校におけるたばこ対策の取り組みアンケート調査(概要版)

20年4月には管内の小・中学校で
敷地内禁煙化が90%以上に

現在市町村教育委員会・学校で
敷地内禁煙化に向け、取り組みを実施

敷地内禁煙実施後
の学校では

- ・教職員の喫煙者数の減少
- ・職員室の空気がきれいになった
- ・喫煙防止教育が進めやすくなった
- ・受動喫煙に関心を持つ生徒が増えた
- ・喫煙に対し保護者やこどもの目が厳しくなった
- ・敷地内に吸い殻がなくなった

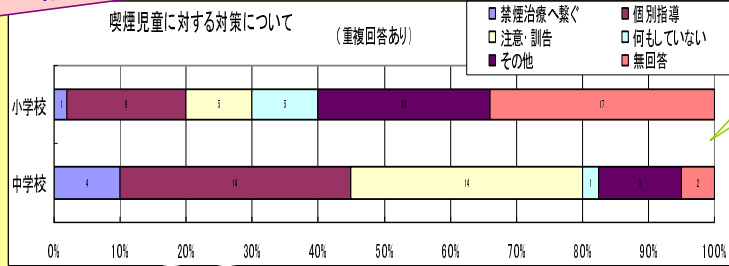


結果

- ・職場環境の改善
- ・教職員の健康管理
- ・生徒・保護者への教育
- ・喫煙防止への啓発普及

すご〜いね

禁煙支援について



禁煙支援 7.1%
個別指導 32.9%
注意・訓告 27.1%

ほとんどの学校で
個別指導や注意・訓告
注意や反省文で
禁煙は不可能

喫煙児童・生徒への
禁煙支援

小学校1校
中学校4校
で実施

教職員の喫煙率
小学校→6.7% 中学校→15.8%

教職員の喫煙者
現在約200人

教職員に対し、禁煙教室等の禁煙支援を
実施の市町村もあります

禁煙支援は
今後の課題

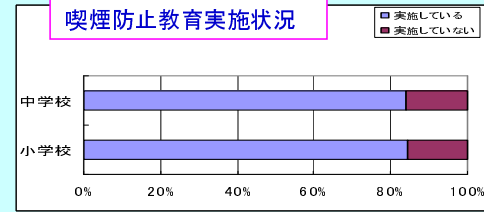
喫煙はニコチン依存症という病気です。子ども達の健康のため禁煙支援は必要です

この調査は、管内小学校45校・中学校25校(私立含む) 回収率100%による結果です。
アンケート調査のご協力厚くお礼申し上げます。

喫煙防止教育の実施状況について

実施率 84.3% 小学校・中学校での差はなかった

喫煙防止教育実施状況



中学校では 1年生で11校
2年生で6校 3年生で19校
喫煙防止教育を実施

6校で
3年間継続した
指導を実施

喫煙防止教育の授業時間と担当者

★小学校
朝の学習時間
や特別活動

担任
養護教諭

★中学校
学級活動、総合
学習、保健体育
の時間

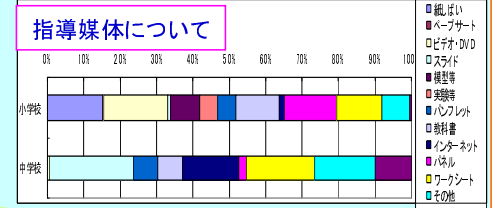
担任
養護教諭
生徒指導、
学年主任、
保健体育教諭

中学校7校 33%で、生徒の喫煙状況等を
把握し、喫煙防止教育を実施

実施内容について

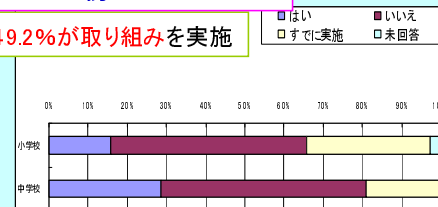


指導媒体について



地域と連携した取り組み状況

49.2%が取り組みを実施

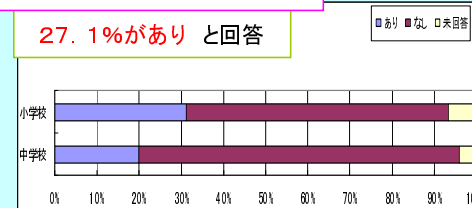


喫煙防止教育後の児童・生徒の反応

- ・喫煙、受動喫煙の害を理解
- ・授業前に喫煙をすると答えていた子どもが吸いたくないと変化
- ・周りの大人に禁煙して欲しいと感じる子が多い
- ・喫煙は自分の健康を害するだけでなく周りの人にも影響を与えることがわかる

喫煙防止教育で困っていること！！

27.1%があり と回答



内容

- ・指導時間の確保
- ・系統だった指導ができない
- ・保護者の喫煙や理解
- ・敷地内禁煙が守られない

郡山保健所では未成年者の喫煙ゼロをめざし、「早期からの効果的な喫煙防止教育」「学校及び学校を取り巻く周りの環境整備」「禁煙支援」を対策の3本柱とし、管内の小・中学校、市町村、関係機関と連携し、さらに推進していきたいと思っています。